



おけさ柿(提供: JA羽茂)

また、新規就農希望者に住居、農地、農業機械等を確保し、農業研修をサポートする「里親制度」の創設に向けた体制整備を進めます。

地域で農地の保全や経営の効率性を図るため、集落営農を推進するとともに、集落・地域の実態に即した地域農業システムの構築を進めます。この中で、農地の出し手への協力を交付し、地域の担い手への農地集積を図ります。

(2) 商工業の振興

生産から販売までの仕組みづくりを進め、異業種参入や異業種連携による事業者の第二創業化の推進、さらには農産物の生産等の付加価値の創出に向けた取組を支援するとともに、事業者の意識高揚を図ります。また、企業間の共同研究や企業のニーズと大学のシーズとのマッチングなど、企業間連携や

産学連携を推進するため、企業と大学の橋渡しをします。

その中で、生産者グループや食品加工業者等を中心に、規格外の果樹類や島内では利用されない山の幸・海の幸を原料とした高付加価値商品の開発に取り組みます。

また、大卒者等のU・イターナーの雇用を確保するため、島外で開催される合同企業説明会に市内企業が参加する費用を助成し、ミスマッチ業種の解消や人材確保を図ります。

主な事業

おけさ柿ブランド化推進事業	342万円
集落営農推進事業	420万円
農地集積事業	630万円
新規就農支援事業	985万円
園芸作物振興事業	58万円
新エネルギー導入事業	1650万円
第二創業対策事業	100万円

【2】島民が一体感を持った観光振興

(1) 観光等交流人口の拡大

これからの観光は、近隣地域との連携が必要であるため、対岸の新潟市、長岡市、上越市、柏崎市等との連携を図るとともに、「個客」ニーズに対応した体制づくりを進めます。特に国や県、新潟市との連携のもと、観光誘客および滞在の促進に向けた取組を展開するとともに、着地型商品の開発・販売に力を入れます。

また、2014年の北陸新幹線開業を視野に、上越市やその周辺地域との協力のもと受入れ側としての整備を進めるとともに、能登との世界農業遺産連携による交流人口の拡大を図ります。さらに、旅行エージェントを積極的に誘致し、佐渡の魅力を感じていただく、旅行商品の企画に参画し、関西方面からの誘客を強化します。

佐渡産の旬の食材にこだわった本物の質を高めることにより宿泊単価の向上や滞在泊数の増加、リピート客の確保を推進していきます。

観光資源の整備では、世界遺産の構成資産として相川の歴史的建造物の修復を行い、鉱山都市の貴重な景観の保全を図り、重要文化的景観の選定を目指します。



北沢浮遊選鉱場

また、ジオパークについては、ジオサイトの遊歩道や看板等の整備を進め

るとともに、ガイドの育成等により持続的な活用に努め、平成25年の日本ジオパーク認定を目指します。

これらの新しい観光資源の活用を図る上で、既存の資源にも磨きをかけ、これらを点とするのではなく線をつなげて物語性を持たせることにより、新たな魅力を発揮させることが重要です。各種の着地型商品を造成するほか、既存イベントの拡充や食の魅力を追加することで多様化するニーズに対応します。

また、フィルムコミッションの機能充実、教育旅行の誘致、グリーン・ツーリズムを主体とした都市との交流、外国人旅行者の誘致を積極的に推進していきます。



小木半島ジオサイト「通称キリン岩」